エコアクション21

環境経営レポート

《2022 年度》2021 年 12 月～2022 年 11 月

2023 年 1 月 26 日発行日

２１世紀の環境クリニック

有限会社　リフレッシュ阿南

認証番号0004427

目次

1.組織の概要……P1

2.対象範囲……P6

3.環境経営方針……P7

4.実施体制……P8

5.環境経営目標とその実績・評価……P9

6.環境経営計画とその実績・評価……P12

7.環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟の有無……P15

8.事故及び緊急事態の想定及びその対応策

9.代表者による全体の評価と見直し・指示の結果……P16

1. 組織の概要

（1）事業所名及び代表者名

有限会社リフレッシュ阿南
代表取締役　遠藤　和紀

（2）所在地

【本社：代表】
徳島県阿南市下大野町太平 267 番地 3
電　話：（0884）22-1248
H　　P：http://www.tokushima-sanpai.org/refreshanan/index.html
e-mail：refresh8@beach.ocn.ne.jp

【大野工場：中間処理、再生化事業】
徳島県阿南市中大野町シル谷 197 番地 1
電話（0884）22-1248

【日和佐工場：中間処理場、再生化事業】
徳島県海部郡美波町北河内字大戸 340 番地 1
電話（0884）77-3401

（3）環境管理責任者氏名及び「環境経営レポート」に関する問い合わせ先

環境管理責任者　　専務　遠藤　昌博

E21 担当者　　日和佐工場　事務担当者
連絡先：電話/FAX　（0884）77-3401
e-mail：r8hiwasa@mc.pikara.ne.jp

（4）事業の内容

・一般廃棄物収集運搬
・産業廃棄物収集運搬
・産業廃棄物中間処理
・一般廃棄物再生利用業
・全国アルミ缶リサイクル認定事業所
・一般貨物自動車運送事業

（5）設立及び資本金

設立年月日　1985 年 11 月 1 日
資本金　　1,000 万円

（6）事業規模

事業年度（毎年 12 月～翌年 11 月）

規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	323	329	328
一般廃棄物収集運搬	t	3,485	3,093	2,982
産業廃棄物収集運搬	t	4,848	4,379	3,473
年間廃棄物処理量	t	7,959	6,975	6,047
従業員数	人	23	25	24
床面積	㎡	9,830	9,830	9,830
敷地面積	㎡	45,269	45,269	45,269

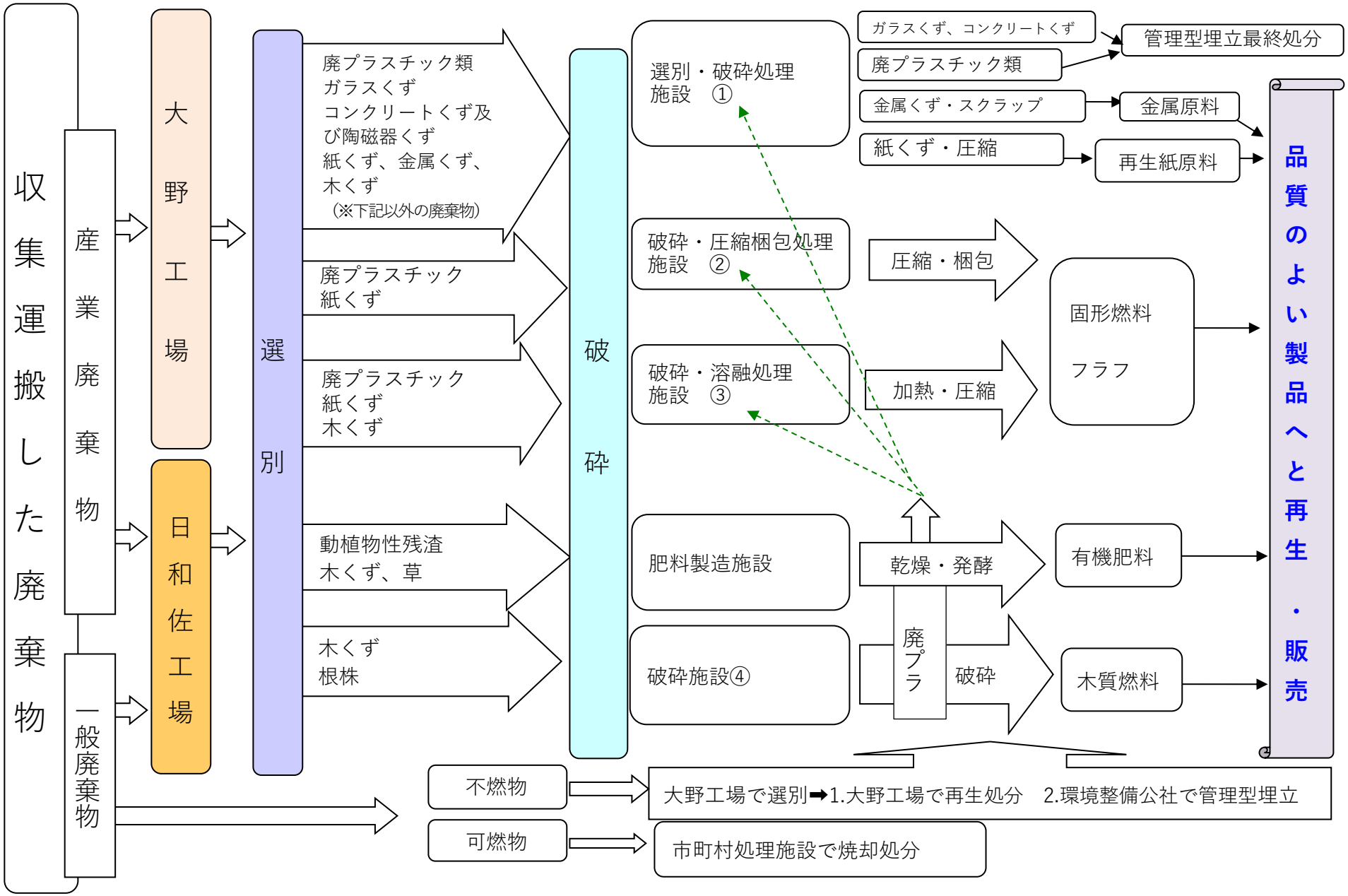
（7）事業所別従業員数

事業所別人員	本社	大野工場	日和佐工場
	6 名	16 名	2 名

（8）処理実績　（過去 3 年間の処理実績）

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
中間処理量	t	7,960	6,975	6,047
再生資源物量	t	6,414	5,112	4,412
最終処分量	t	1,634	1,767	1,582
収集運搬量	t	8,332	7,472	6,455
（産業廃棄物）	t	4,847	4,379	3,473
（一般廃棄物）	t	3,485	3,093	2,982

（9）処理工程図


収集運搬した廃棄物
産業廃棄物
一般廃棄物
大野工場
日和佐工場
選別
廃プラスチック類
ガラスくず
コンクリートくず及び陶磁器くず
紙くず、金属くず、
木くず
（※下記以外の廃棄物）
廃プラスチック
紙くず
廃プラスチック
紙くず
木くず
動植物性残渣
木くず、草
木くず
根株
破砕
選別・破砕処理施設　①
破砕・圧縮梱包処理施設　②
破砕・溶融処理施設　③
肥料製造施設
破砕施設④
ガラスくず、コンクリートくず
廃プラスチック類
管理型埋立最終処分
金属くず・スクラップ
金属原料
紙くず・圧縮
再生紙原料
圧縮・梱包
加熱・圧縮
固形燃料
フラフ
乾燥・発酵
有機肥料
廃プラ
破砕
木質燃料
品質のよい製品へと再生・販売
不燃物
大野工場で選別➡1.大野工場で再生処分　2.環境整備公社で管理型埋立
可燃物
市町村処理施設で焼却処分

（10）運搬施設

四国運輸局長 認　　定	事業内容	一般貨物自動車運送事業	認定 期日	2000 年 2 月 7 日
名称	所在地			
本社、事務所、駐車場	阿南市下大野町太平 267-3(本社・事務所)・282-3(駐車場)			
(第 1 事業所)大野工場	阿南市中大野町シル谷 197-1			
(第 2 事業所)日和佐工場	海部郡美波町北河内字大戸 340-1			
倉庫、駐車場	阿南市下大野町渡り上り 550			

運搬車両の種類	積載量	台数	
アームロール車　2t 車 3t 車 4t 車 8t 車 11t 車	2.00t 3.00t 3.60 t ～4.15t 8.00t 10.50t～11.30t	1 台 1 台 4 台 1 台 2 台	（産業廃棄物） 燃えがら、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類
トラッククレーン車 （ユニック）　3t 車 〃　4t 車 （つかみ）　8t 車 塵芥車　2t 車 〃　3t 車 〃　3.5～4t 車 トラック平　8t 車 ウィング車　8t 車 セルフローダー　11t 車	2.00t 2.20t 5.60t 2.00t 2.30t～2.70 t 2.85t～3.15t 8.10t 7.20t 11.00t	1 台 1 台 1 台 3 台 3 台 4 台 1 台 1 台 1 台	（再生化資源物） （一般廃棄物）

様々な工場や企業、個人の方よりいろいろな種類の廃棄物が排出されます。

弊社はそれぞれのニーズに合わせて特殊車両を配備しています。

排ガス規制 NOX-PM 適合車両等を整備しています。

（11）廃棄物の処理料金

廃棄物の収集運搬処理料金については、廃棄物の種類・荷姿・重量・運搬距離により異なりますので、弊社までお問い合わせください。

お見積もりは無料で承ります。

（12）許認可等の概況

（ア）　産業廃棄物収集運搬業許可

徳 島 県 許可番号	3600003646	事業区分	産業廃棄物 収集運搬業	許可年月日	令和 2.3.10
				有効年月日	令和 7.2.27

・積み替え保管なし
・取り扱う産業廃棄物の種類
燃えがら、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じるものを除く。)及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類(以上 12 種類。特別管理産業廃棄物及び自動車等破砕物であるものを除き、石綿含有産業廃棄物であるものを含む。)

（イ）　一般廃棄物処理業許可

事業の範囲　事業系一般廃棄物の収集運搬(一部の家電製品も対象)

作業区域	許可番号	事業の目的	許可年月日	有 効 期 限
阿南市	第 1 号	公営焼却施設への搬送	令和 4.4.1	令和 6.3.31
徳島市	第 406 号	家電製品の搬送	令和 4.4.1	令和 6.3.31
小松島市	小環第 72 号交付	公営焼却施設への搬送	令和 4.4.1	令和 6.3.31
海部郡(美波町)	美住生第 100 号	〃	令和 4.4.1	令和 6.3.31
〃　(牟岐町)	牟住第 109 号	〃	令和 4.7.15	令和 6.8.30
〃　(海陽町)	海住環(蓮)第 14 号	〃	令和 4.8.5	令和 6.8.31

（ウ）　一般廃棄物再生利用業指定許可

事業の範囲　公共施設他・国道・堤防から発生する一般廃棄物の再生活用・再生輸送

作業区域	指定番号		指定年月日	指 定 期 間
阿南市	第 1 号	刈草、剪定枝、伐採木、根株、流木類、杉皮、ホテイアオイ、水草、廃プラスチック類、缶類、紙、金属くず (再生品) 木質燃料 有機肥料 固形燃料 (フラフ、RPF)	令和 4.4.1	令和 6.3.31
小松島市	第 21 号		令和 5.8.28	令和 7.8.27
徳島市	第 13 号		令和 5.7.1	令和 7.6.30
鳴門市	第 202 号		令和 3.12.7	令和 5.12.14
阿波市	第 2023-10 号		令和 5.8.1	令和 7.7.31
美馬市	第 14 号		令和 5.4.1	令和 7.3.31
松茂町	第 1 号		令和 5.6.8	令和 7.6.7
藍住町	第 4-3 号		令和 4.6.18	令和 6.6.17
上板町	第 10 号		令和 5.8.7	令和 7.8.6
北島町	第 4 号		令和 5.4.1	令和 7.3.31
板野町	第 127 号		令和 5.8.11	令和 7.8.10
那賀町	那賀環第 172 号		令和 5.4.1	令和 7.3.31
美波町	第 1 号		令和 4.4.1	令和 6.3.31
牟岐町	第 43 号		令和 4.12.1	令和 6.11.30
海陽町	第 17 号		令和 2.12.21	令和 5.12.31
勝浦町	第 1474-1 号		令和 4.3.30	令和 6.3.31

（エ）　産業廃棄物処分許可

徳島県許可番号	3620003646	事業区分	産業廃棄物 中 間 処 理	許可年月日	令和 4.3.9
				有効年月日	令和 8.12.19

中間処理	分別、破砕、圧縮、発酵、堆肥化、加熱圧縮	
処理施設	廃棄物の種類	能力
大野工場 破砕施設① 破砕施設② 破砕施設③ 圧縮施設 加熱圧縮施設	廃プラスチック類① 金属くず② ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず③ 紙くず④ 木くず⑤ 廃プラスチック類⑥ 木くず⑦ 廃プラスチック類⑧、紙くず⑨ 廃プラスチック類、紙くず、木くず⑩	①4.72t/D ②17.28t/D ③20.4t/D ④1.68t/D ⑤4.8t/H ⑥4.4t/D ⑦2.88t/D ⑧⑨2.0t/H ⑩8.72t/D
日和佐工場 破砕施設④ 発酵、堆肥化施設	 廃プラスチック類⑪、木くず⑫ 汚泥、動植物性残渣、木くず⑬	 ⑪2.88t/D⑫4.8t/D ⑬10t/D←5t/D×2 基

※産業廃棄物保管施設

施設名/住所	種類	面積	容積
大野工場 阿南市中大野町シル谷 197-1	廃プラ類、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、木くず、金属くず、紙くず	1,186 ㎡	3,558 ㎥
日和佐工場 海部郡美波町北河内字大戸 340-1	植物性残渣、有機汚泥、木くず、廃プラ類	1,243 ㎡	3,729 ㎥

（オ）　再生利用事業登録　（食品循環資源再生登録事業）

中四国農政局長 中国四国環境事務所長 許可番号	36-1-4	事業内容	肥料化事業	登録年月日	令和 4.4.19
				有 効 期 限	令和 9.5.7
事業場の所在地 事業場の名称	徳島県海部郡美波町北河内字大戸 340-1 有限会社　リフレッシュ阿南　日和佐工場				

2. 対象範囲

全組織・全活動を対象範囲としている。

3. 環境経営方針

基　本　理　念

有限会社リフレッシュ阿南では、廃棄物の再資源化率の向上を目指しており、廃棄物処理については、埋立処理や単純焼却することなく、分別回収に取り組み、それぞれの廃棄物にあった適切な処理をし、リサイクル（再商品化）及びリユース（再使用）の効率化に努めます。また、循環型社会に貢献する中にも弊社としては“地球環境の再生＝リフレッシュ”を常に念頭に良質な再商品化に努めます。伴わせて、事業活動が環境に与える影響を理解し、環境負荷の発生を抑制し資源循環型社会の構築に貢献し、環境経営の継続的改善を行います。

環境経営方針

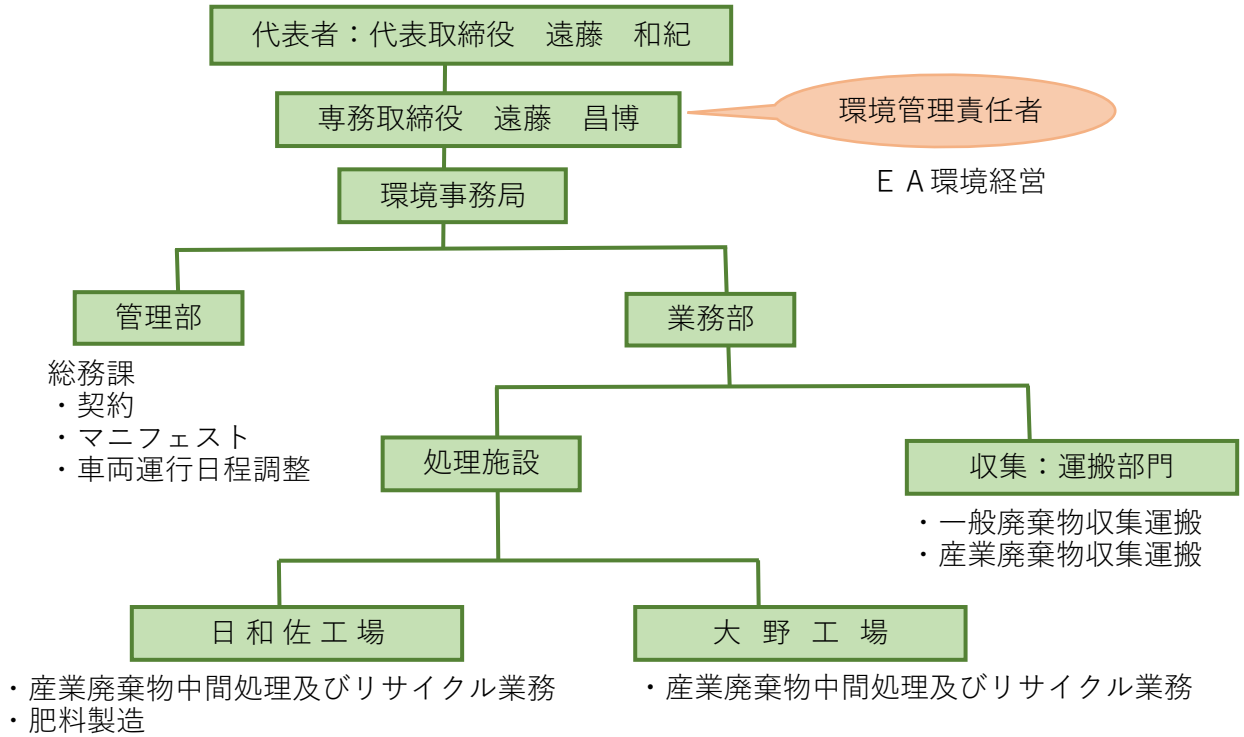
事業活動において、環境に影響する内容を認識し、「環境経営計画」を作成すると共に、以下の事項を重点的に取り組み、環境保全に努めます。

① 事業活動に伴って生じる二酸化炭素の排出量を抑制します。
② 水使用量の削減をします。
③ 廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化など 3R に努めます。
④ 当社の事業活動に係る環境関連法規を順守します。
⑤ 環境に配慮した分別回収に積極的に取り組みます。
⑥ 全従業員にエコアクション 21 の取り組み内容を知らせ、環境経営計画、環境経営方針・目標を周知し、保全意識の向上に努めます。
⑦ 受託した廃棄物の収集運搬・処分における環境保全及びサービスの改善を図ります。

制定日：2009 年 2 月 1 日
改定日：2021 年 2 月 1 日

有限会社　リフレッシュ阿南
代表取締役　遠藤　和紀

4. 実施体制



	役割・責任・権限
社長	・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施
専務 環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境経営実施計画書を承認 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・ＥＡ２１推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境経営目標・環境経営実施計画書原案の作成 ・環境経営実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
業務部　工場長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加

5. 環境経営目標とその実績・評価

弊社は 2008 年 11 月よりエコアクション 21 を構築し、2009 年 2 月から目標を掲げて環境経営に取り組んでいる。

（1）　環境経営目標の基準設定と 2021 年～2023 年間の目標

		単位	基準値 2020年実績	2021年度目標 1.0％削減	2022年度目標 2.0％削減	2023年度目標 3.0％削減
温暖効果ガス排出量		kg-CO2	562,452	556,827	551,203	545,578
総エネルギー投入量	電力	kWh	210,038	207,938	205,837	203,737
	ガソリン	L	6,387	6,324	6,260	6,196
	軽油	L	121,373	120,159	118,946	117,732
	灯油	L	491	486	481	476
	重油	L	54,222	53,680	53,138	52,595
排水量		㎥	124.0	122.8	121.5	120.3
廃棄物再資源化率		%	75.0	76.0	77.0	78.0
環境に配慮した分別回収指導		件数	4件	4件指導	4件指導	4件指導
地域清掃活動推進		回	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年

・四国電力 CO_2排出係数(2019 年度実績)：0.411（kg-CO2/kWh）適用

※基準値の見直しは 3 年ごととする。

※2021 年度より環境目標基準値を改定（改定時の前年度実績を基準値とする。）

※削減目標は 1%～とする。

※但し、豆腐類の入荷量が 2021 年より増加しているため温暖効果ガス排出量・重油の目標値は 2020 年度の基準値を目標とすることとする。

（2）　今年度環境経営目標とその実績

2022 年度（2021 年 12 月～2022 年 11 月）

		単位	基準値 2020年実績	目標 2.0％削減	実績	達成度	評価
温室効果ガス排出量		kg-CO2	562,452	551,203	723,703	76.2%	△
総エネルギー投入量	電力	kWh	210,038	205,837	294,118	70.0%	△
	ガソリン	L	6,387	6,260	6,322	99.0%	○
	軽油	L	121,373	118,946	106,494	111.7%	◎
	灯油	L	491	481	412	116.8%	◎
	重油	L	54,222	53,138	115,267	46.1%	×
排水量		㎥	124.0	121.5	113.0	107.5%	◎
廃棄物再資源化率		%	75.0	77.0	73.0	94.8%	○
環境に配慮した分別回収指導		件数	4件/年	4件指導	4回		◎
地域清掃活動推進		回数	4回/年	4回/年	4件		◎

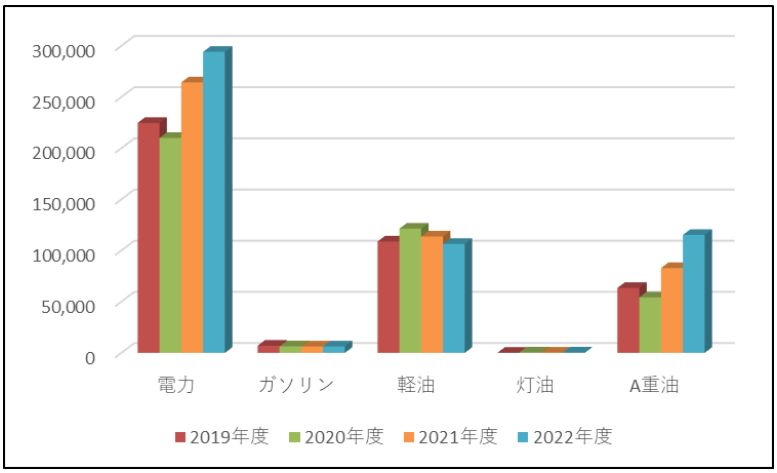
・四国電力 CO_2排出係数(2019 年度実績)：0.411（kg-CO2/kWh）適用

・評価（◎：100％以上、○：80％以上、△：50％以上、×：50％未満）

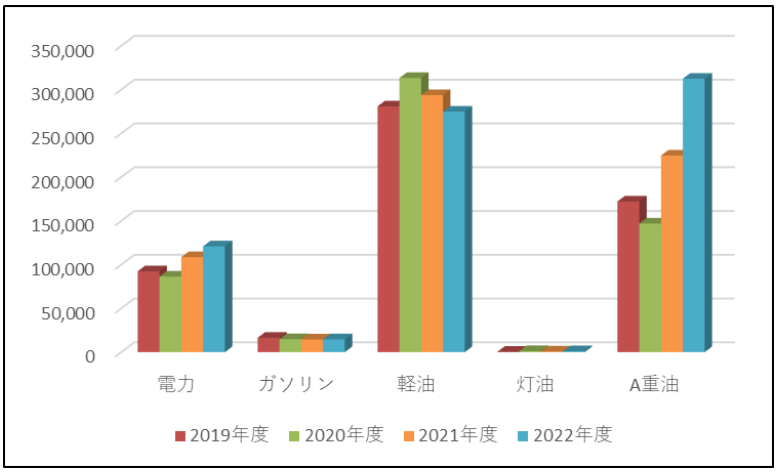
（ア）環境への負荷状況

		単位	2021年度	2022年度
総エネルギー投入量	購入電力	kWh	264,283	294,118
	化石燃料			
	ガソリン	L	6,292	6,322
	軽油	L	113,787	106,494
	灯油	L	329	412
	重油	L	82,880	115,267
	化石燃料　小　計	L	203,288	228,495
	合　計	L	467,571	522,613
総物質投入量	資源投入量	t	0.05	0.05
水資源投入量	上水道	㎥	117	113
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO2	642,212	723,703
化学物質排出量移動量	大気・用水地・土壌への排出	ℓ	0	0
総排水量	公共用水域	㎥	117	113
事業系一般廃棄物	コピー用紙	t	0.05	0.05

（イ）事業運営のための総エネルギー投入量の比較



（ウ）温室効果ガス排出量の年度比較



(3) 達成状況と評価　2022 年度

・温室効果ガス排出量の削減

二酸化炭素排出量の削減　達成率 76.2％

機械の老朽化に伴い電力増加。機械交換を適時進める。(2023 年度 10 月末に廃プラ破砕機を交換予定。)今後も引き続き節電に取り組む。

空調の適温化(暖房 20°C・冷房 28°C)　クールビズ、ウォームビズの実施。

・総エネルギー投入量の削減　電力・重油で未達成。

場内での圧縮作業の増加により電力量が増えた。また豆腐残渣の受け入れ量の増加により乾燥作業が増え重油使用量が増加。

仕事量の増加に伴い必要性のある燃料消費のため増加。

作業効率の見直しを図り節電に努める。

エコドライブの実施。アイドリングストップの実施。

・排水量の削減　達成率 107.5％

節水表示活動を継続し個々の意識を向上していくよう勧めていきたい。

点検時に水漏れを確認する。水道使用後の閉め忘れに注意すること。

・廃棄物の再資源化率　達成率 73.0％

中間処理施設の廃棄物状況の確認。コンテナ回収の産業廃棄物の分別は 1 か月以内に行う。

分別の徹底、リサイクルの意識向上をさせる。

・地域清掃活動への参加　達成

(大野地区道路愛護清掃活動：2022.3.5、2022.9.3)

(アドプトネットワーク那賀川活動：2021.12.4、2022.7.2)

これからも地域との交流を図りながら環境保全に努めていきたい。

・環境に配慮した分別回収指導　達成

環境に配慮した分別回収、スムーズな適正処理ができるように廃棄物排出事業者への分別回収の取り組みがゴミの削減・良質な再生品づくりにつながっている。

事務用品はグリーン購入を基本に過剰な包装物は買わない。リサイクル意識を持つ。

6. 環境経営計画とその実績・評価

（1）2022 年度　環境経営計画

<table>
<tr><th colspan="3">環境経営計画</th><th>達成手段</th><th>活動内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">温室効果ガス排出量の削減</td><td rowspan="3">総エネルギー投入量</td><td>重油の削減
（日和佐工場長）</td><td>処分場
・発酵・堆肥化機器の稼働管理
・ボイラーの稼働管理</td><td>電源スイッチ
・ON,OFF をこまめにする
・軸受部のメンテナンス
・コンプレッサーで清掃
・熱風交換機の清掃をする</td></tr>
<tr><td>電気の削減
（大野工場長）
（日和佐工場長）</td><td>処分場
・機器稼働管理
（選別機、破砕圧縮機
加熱圧縮機、）
事務所
・電灯 消灯
・エアコン設定温度</td><td>電源スイッチ
・ON,OFF をこまめにする
・軸受部のメンテナンス
・コンプレッサーで清掃
昼時間、事務所の消灯を実施
設定温度 冷房 28°C 暖房 20°C</td></tr>
<tr><td>軽油の削減</td><td>運搬施設
・運行管理
・アルコール検知器
・点検指導</td><td>エコドライブ実施
・ドライブレコーダー導入
・点呼、健康チェック
・運転日報管理の徹底
・車両点検整備の徹底</td></tr>
<tr><td colspan="3">水の使用量の削減</td><td>節水</td><td>節水告知ラベルの作成貼付
こまめな節水を意識する。</td></tr>
<tr><td colspan="3">廃棄物排出量の削減</td><td>再生への取組意義を知らせる。
ミスコピーを減らす。</td><td>廃棄物の分別を徹底する
・フラフなど再生品の製造を高める。
・計測を徹底する。</td></tr>
<tr><td colspan="3">環境に配慮した
分別回収</td><td>排出業者にごみの分別の依頼</td><td>一般廃棄物でのごみの分別指導をする。
（焼却ごみ・再生ごみ）</td></tr>
<tr><td colspan="3">環境活動推進</td><td>アドプト清掃美化活動
社内５Ｓ活動推進</td><td>アドプト活動
地域清掃活動
社内から出るごみの分別</td></tr>
</table>

（2）2022 年度　環境経営計画　実績、評価

（達成状況：評価のチェック　◎十分できている　　〇ほぼ出来ている　　△まだ十分でない　　×出来ていない）

環境経営計画			達成手段	活動内容	達成状況（月）				活動結果と評価	今後の取り組み
					2	5	8	11		
温室効果ガス排出量の削減	総エネルギー投入量	重油の削減 （日和佐工場長）	処分場 ・発酵・堆肥化機器の稼働管理 ・ボイラーの稼働管理	電源スイッチ ・ON,OFF をこまめにする ・軸受部のメンテナンス ・コンプレッサーで清掃 ・熱風交換機の清掃をする	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	1/18 ボイラーの定期点検。消耗品の交換を行う。 業者長期休み中の入荷スケジュール確認を早めにし、効率的な作業計画を立てる。 おから等の投入口が破損。投入作業に手間取り効率的作業が困難となる。	機器類の清掃・グリスアップを随時行う。 急なオーダーにも対応できる作業計画を常日頃から検討すること。 早急に修理箇所の修理依頼済。
		電気の削減 （大野工場長） （日和佐工場長）	処分場 ・機器稼働管理 （選別機、破砕圧縮機加熱圧縮機、） 事務所 ・電灯 消灯 ・エアコン設定温度	電源スイッチ ・ON,OFF をこまめにする ・軸受部のメンテナンス ・コンプレッサーで清掃 昼時間、事務所の消灯を実施 設定温度 冷房 28°C 暖房 20°C	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	1/21 日和佐工場内消防用設備等点検(四電工) 4/23 火災報知器修理済日和佐工場) 7/22 電気保安協会による年次点検。	節電の徹底。 機械類の清掃・グリスアップを定期的に行う。 作業ごとに担当者を決め、各自での清掃等に自覚を求める。 定期的にエアコン掃除を行う。
		軽油の削減	運搬施設 ・運行管理 ・アルコール検知器 ・点検指導	エコドライブ実施 ・ドライブレコーダー導入 ・点呼、健康チェック ・運転日報管理の徹底 ・車両点検整備の徹底	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	車両の責任者を明示。メンテナンスへの自覚が図れた。 ワクチン接種の従業員が増えているため作業を助け合いながら行う。	朝礼時の飲酒・体調チェックの徹底。11/1 より始業前・紙業後の 2 回アルコールチェックを行う。 エコドライブ・アイドリングストップの徹底。
水の使用量の削減			節水	節水告知ラベルの作成貼付 こまめな節水を意識する。	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	◎ ◎	継続して取組中 〃	必要な水は使用し、節水の気持ちは忘れずに行動する事。
廃棄物排出量の削減			再生への取組意義を知らせる。 ミスコピーを減らす。	廃棄物の分別を徹底する ・フラフなど再生品の製造を高める。 ・計測を徹底する。	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	中間処理、分別は十分できている。 再生率の UP ができた。	分別が不十分な店舗へはその都度指導する。
環境に配慮した 分別回収			排出業者にごみの分別の依頼	一般廃棄物でのごみの分別指導をする。 （焼却ごみ・再生ごみ）	◎	◎	◎	◎	ゴミの分別指導。臨時収集顧客も同様に指導。	ゴミの適正処理のため引き続きの分別を指導する。
環境活動推進			アドプト清掃美化活動 社内５Ｓ活動推進	アドプト活動 地域清掃活動 社内から出るごみの分別	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	アドプト清掃（2021.12.4・2022.7.2）・地域清掃活動(2022.3.5・2022.9.3)	忘年会で社員の団結を図る。 大野地区清掃前に周辺道路の草刈りをし、地元との交流を図る。

(3) 次年度　環境経営計画

<table>
<tr><th colspan="3">環境経営計画</th><th>達成手段</th><th>活動内容</th></tr>
<tr><td rowspan="3">温室効果ガス排出量の削減</td><td rowspan="3">総エネルギー投入量</td><td>重油の削減
（日和佐工場長）</td><td>処分場
・発酵・堆肥化機器の稼働管理
・ボイラーの稼働管理</td><td>電源スイッチ
・ON,OFF をこまめにする
・軸受部のメンテナンス
・コンプレッサーで清掃
・熱風交換機の清掃をする</td></tr>
<tr><td>電気の削減
（大野工場長）
（日和佐工場長）</td><td>処分場
・機器稼働管理
（選別機、破砕圧縮機
加熱圧縮機、）
事務所
・電灯 消灯
・エアコン設定温度</td><td>電源スイッチ
・ON,OFF をこまめにする
・軸受部のメンテナンス
・コンプレッサーで清掃
昼時間、事務所の消灯を実施
設定温度 冷房 28°C 暖房 20°C</td></tr>
<tr><td>軽油の削減</td><td>運搬施設
・運行管理
・アルコール検知器
・点検指導</td><td>エコドライブ実施
・ドライブレコーダー導入
・点呼、健康チェック
・運転日報管理の徹底
・車両点検整備の徹底</td></tr>
<tr><td colspan="3">水の使用量の削減</td><td>節水</td><td>節水告知ラベルの作成貼付
こまめな節水を意識する。</td></tr>
<tr><td colspan="3">廃棄物排出量の削減</td><td>再生への取組意義を知らせる。
ミスコピーを減らす。</td><td>廃棄物の分別を徹底する
・フラフなど再生品の製造を高める。
・計測を徹底する。</td></tr>
<tr><td colspan="3">環境に配慮した
分別回収</td><td>排出業者にごみの分別の依頼</td><td>一般廃棄物でのごみの分別指導をする。
（焼却ごみ・再生ごみ）</td></tr>
<tr><td colspan="3">環境活動推進</td><td>アドプト清掃美化活動
社内５Ｓ活動推進</td><td>アドプト活動
地域清掃活動
社内から出るごみの分別</td></tr>
</table>

7. 環境関連法規制等の遵守状況並びに違反・訴訟の有無

区分	内容	遵守チェック
環境一般	環境基本法	レ
	グリーン購入法	レ
	地域温暖化対策の推進に関する法律	レ
	環境配慮事業促進法	レ
廃棄物	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・産業廃棄物・一般廃棄物	レ レ
	・食品リサイクル法に関する法律	レ
	・特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）	レ
水質汚濁	浄化槽法	レ
騒音	騒音規制法	レ
悪臭	悪臭防止法	レ
消防	消防法　第 9 条の 4	レ
	消防法・火災予防法	レ
労働安全	労働安全衛生法	レ
大気汚染	・大気汚染防止法　第 6 条第 1 項 ・フロン排出抑制法 ・徳島県せいかつ	レ レ レ
運行管理	道路運送車両法	レ
阿南市環境基本条例	市が実施する環境基本条例に基づき環境資源の保全及び活用を図るよう最大限努力するなど	レ

過去 3 年間、当社に適応される環境関連法規制等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘、違反、利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

8. 事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策

1）事故及び緊急事態の想定結果

燃料や化学物質の大量の保管はしておらず、環境上の緊急事態の可能性はないと判断されることから、火災・地震等の対応を緊急事態と想定します。

2）対応策

火災・地震等の対応策を次のとおりとします。

防災管理者	専務　遠藤　昌博
消防計画の策定	消防法(第 8 条第 1 項)の基づき、火災・地震その他災害予防と人命の安全、被害の軽減を図ることを目的とし、防災管理について消防計画を定めています。
訓練の実施	年 1 回、通報・消火・避難の訓練を実施します。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

【期間】2021 年 12 月～2022 年 11 月

作成責任者：遠　藤　和　紀
作　成　者：香 川 美 代 子
作　成　日：2023 年 1 月 26 日

見直しに必要な情報

取組状況の評価結果

・法的要求事項の順守状況
　特に問題点はなし。

・是正及び予防処置の状況
　特に問題点はなく、継続する。

・教育訓練の実施状況
　2022.7.4 消防訓練実施。今後も定期的に実施し、対応の精度を高める。来期より熱中症対策も行う。

・前回までの指摘事項の改善他
　無し。

【改善への提案】
　特になし

目標の達成状況

◎：100％以上、○：80％以上、△：50％以上、×：50％未満

目標項目	達成状況
温室効果額排出量	△
総エネルギー投入量	
電　　力	△
ガソリン	○
軽　　油	◎
灯　　油	◎
重　　油	×
排水量	◎
廃棄物再資源化率	○
分別回収指導	◎
地域清掃活動推進	◎

【改善への提案】
　必要性のある燃料の削減は出来ないため目標値の見直しが必要です。

周囲の変化状況

外部からの環境に関する苦情・要望等なし

【改善への提案】
　特になし

代表者による見直し 変更の必要性の有無・指示事項

環境経営方針

特になし。

方針は事務所に掲示し、全員に周知した。取組を全従業員が共通意識を持つように意識付けする。

変更の必要性：　□有・■無

環境経営目標及び環境経営計画

当社を取り巻く環境、事業内容に大きな変化はなく、引き続き現在の環境経営方針に沿った経営を行う。

処理施設・運搬機器など無駄のない的確な導入をし、「エコ運営」を今後も行っていく。

稼働・運行前の点検の徹底。個人ごとに責任をもって行う。

廃棄物処理業務の現場事務所の清掃と共に整理整頓を行う。誰が見てもわかるようにすること。

自社の課題は何か？その問題点の明確化と、具体的な改善策を常に考える。

リサイクル事業とは『混ぜればゴミ、分ければ資源になる」を常に念頭に置く。

変更の必要性：　□有・■無

その他

・環境負荷データの収集と結果の掲示の確認。
・帳票類を作成する。
・教育訓練を実施する。
・危機管理。

変更の必要性：　□有・■無

実施体制について

産廃処理運営にあたり自社の課題の明確化と、具体的な改善策を行う。

1.会社運営の目的、目標

2.危機管理、メンテナンス

3.役割と自己責任 5s 活動推進

変更の必要性：　□有・■無